

# リリースノート—AJA Mac Plug-ins for Adobe v10.6

## 動作環境

---

- ・ Mac OS 10.9.5 (Mavericks) および 10.10 (Yosemite) (64bit カーネルモードで動作している必要があります)
- ・ QuickTime™ 7.6 以上
- ・ KONA シリーズ、Io シリーズ、T-TAP v10.6 ドライバ以降
- ・ Premiere Pro CC/CC 2014, AfterEffects CC/CC 2014, Photoshop CC/CC 2014 Prelude CC/CC 2014, Speed Grade CC/CC 2014 (いずれも最新バージョンへのアップデートを推奨)
- ・ Adobe社の認定するMercury GPUの使用を強く推奨します。

## 修正点

---

- ・ Premiere Pro CC 2014.1 (8.1)をサポート
- ・ Premiere Pro におけるいくつかのオーディオ出力問題を修正
- ・ Adobe Audition のような AJA Core Audio と同時に動作するアプリケーションでAJA Adobe Plug-insの動作性能を向上
- ・ Io 4KのSpeed Gradeにおける問題を修正
- ・ After Effects CC 2014 におけるAJA Transmit plug-inの処理能力を改善

### 注意：

- ・ KONA 3をサポートするAdobe Plug-insの最終リリースとなります。

## 既知の問題

---

- ・ シーケンスとハードウェアのフレームレート設定が異なると、適切なオーディオ出力が得られない場合があります。
  - ・ 720p50/59.94/60以外の720pフォーマットで発生する可能性があります。
  - ・ この制限を回避するには、Premiere Proの再生設定で、AJAビデオデバイスを「Match Control Panel」に設定します。その後、AJAコントロールパネルを使い、出力に対して1080フォーマットへのクロスコンバージョンを設定します。例えば、720p23.98プロジェクトを使用する場合は、SDI出力を選択して1080PsF23.98フォーマットを選択設定します。
- ・ Premiere Proの再生環境設定におけるビデオデバイスに対する遅延制御は機能しません。
- ・ Io 4KとMacによる4Kキャプチャは、非圧縮8ビットYUVのみ動作します。

- ・システムのスリープは、KONAおよびIoデバイスを使用時にすべきことではありません。スリープモードをオペレーティングシステムの設定で無効にする必要があります。
- ・KONAおよびIoのCore Audioドライバは、ボイスオーバーツールを使用する場合を除いてPremiere Proでは使用されていません。Premiere Proにおける音声出力設定の詳細については、AJAのAdobeプラグインマニュアルを参照してください。
- ・クラッシュキャプチャにおいて、RS-422 タイムコードをキャプチャすることは出来ません。
- ・VFRにプルダウンが追加された場合、タイムコードは調整されません。
- ・HD-SDI経由のクラッシュキャプチャおよびプリントにおいてVaricamフレームレートでの動作は可能ですが、インサート編集やイン・アウト点を指定してのキャプチャやバッチキャプチャは行えません。
- ・パナソニック社製のデッキにインサート編集を掛ける際、正しく編集を行えない場合があります。この問題を回避するためには、メニュー項目202"ID SEL"が"OTHER"に設定されていることを確認してください。
- ・デッキ制御において3秒以下のプリロールは推奨しません。
- ・Premiere Proのモニタ設定のデフォルトは"最初のフィールド"となっています。インターレースを正しく表示するには"両方のフィールド"を選択してください。
- ・Premiere Proのキャプチャウィンドウを開いた状態で、デッキのテープがDFからNDFに変更された場合、DF/NDFステータスを正しく検知できない場合があります。この時、Premiere Proのキャプチャーウィンドウに表示されるタイムコードは正しくない可能性があります。
  - ・同じキャプチャーセッション中にDFとNDFのテープ混在がなければ、この問題はユーザーに影響しません。
  - ・対処方法：テープチェンジ時に表示されるダイアログにてテープ名を与え、OKをクリックする前に新しいテープをスプールしてください。
  - ・回避方法：キャプチャーウィンドウを一度閉じて、再度開きます。
- ・Panasonic D5デッキを使用してキャプチャー/テープへ書き出しを行う際は、AJA Premiere Pro Device Control プラグインのタイムコードソース設定をLTC+VITCにしなければなりません。

- |           |                 |              |
|-----------|-----------------|--------------|
| ・ KONA 4  | ・ KONA LHi      | ・ Io Express |
| ・ KONA 3G | ・ KONA LHe Plus | ・ Io XT      |
| ・ KONA 3  | ・ Io 4K         | ・ T-TAP      |

## このリリースでサポートされる製品

---

## バージョン履歴

---

### 10.5.2 - Release Date: August 21, 2014

- ・新しい Premiere Pro Transmit Plug-in のハードウェア バッファリング設定  
Premiere Pro > 環境設定 > 再生 > ビデオデバイス > 設定 > バッファモード
  - ・ Standard - 8フレームのバッファを使用するデフォルトのモードです。

テープにマスタリングを行う際の使用を推奨します。

- ・ Minimum - 3フレームのバッファを使用するモードです。  
システムリソースが追いつかない場合に出力のフレーム落ちが発生する可能性が高くなりますが、タイムラインの再生/停止/JKLパフォーマンスを向上させることが出来ます。
  - ・ Maximum - 14フレームのバッファを使用するモードです。  
頻繁にフレーム落ちが発生する場合は、システムリソースのパフォーマンス不足が考えられます。以前のMac Miniや、推奨されるMercury GPUを使用しないシステムでフレーム落ちの発止頻度を下げることが期待されます。
- ・ AfterEffects が間違った出力チャンネルを使用する問題を修正
  - ・ オーディオハンドリング性能の強化
  - ・ Premiere ProでのJKL性能の改善（上記ハードウェア バッファリングの変更を参照）
  - ・ AfterEffects で16 bpcプロジェクトを表示するときの問題を修正
  - ・ Premiere Proのキャプチャにおいて、ファイル名に2バイト文字を使った時に起こる問題を修正
  - ・ Premiere ProにおいてAJA コントロールパネルでVANCをONにした時に、不正な黒レベルとなる不具合を修正
  - ・ Premiere Proにおいて、タイムラインの最終部分でJKLコントロールを行った際にPremiere Proのクラッシュを引き起こす可能性がある問題を修正
  - ・ Premiere Proの再生開始時に、1~2フレームA/Vシンクが取れないことがある問題を修正

## 10.5.1 - Release Date: March 25, 2014

### All

- ・ io 4K サポート
- ・ AJA DataCalcデスクトップ アプリケーションにフォーマットを追加
- ・ コントロールパネルでの P/Psf 選択機能をサポート

### io XT

- ・ HDMIオーディオ出力の2/8チャンネル設定を修正

## 10.4.1 - Release Date: August 29, 2013

### All

- ・ io XTとT-TAPのWindows 7, Windows 8サポート
- ・ ハウスデフォルト設定を継続保持する新しいコントロールパネル
- ・ AJAコントロールパネルの設定が再起動後にリセットされる問題を修正

## 10.4.0 - Release Date: June 17, 2013

### All

- ・ Windows 8サポート
- ・ 新しいWindows ASIO Audio driver
- ・ KONA 3G, 4Kモードにおける4K, QuadHD 29.97/30fpsをサポート

